

解 答

1 1 うすい水酸化ナトリウム水よう液 ○

理由 Bを60cm³以上加えても残った固体が増えないことから、Bの水溶液の溶質は固体でないことがわかり、塩酸と決まるから。

2 ④, ⑤, ⑥ 3 50 4 3

2 1 ウ→ア→イ

2 ア ③ イ ① ウ ② 3 ア ② イ ①

3 1 不適当なこと ピンにひび割れが入っている。

芯が長すぎる。

アルコールの量が少なすぎる。

起きると考えられること アルコールがもれて引火する。

炎がピンに当たり、ガラスが割れ引火する。

アルコールの液体に引火する。

2 (1) 閉じこめられたアルコールの液体が冷やされ液体となり、ふたの内側の圧力が下がりふたがそれなくなる。

(2) 新しい酸素が供給されなくなるため、燃焼条件の1つが満たされなくなったから。

3 (1) ア 二酸化炭素 イ 二酸化炭素、水蒸気

(2) ア 炎を出さずに赤くなつて燃える。 イ 炎を出して燃える。

4 水の蒸発に熱が使われ、紙の発火点に達しなかつたから。

4 1 ア 2 下に落ちる。

3 同じ方向に磁石を何回もくっつけて動かすことをくり返す。

4 水の上に軽い発泡スチロールを浮かべ、その上にぬい針を置く。

5 S

5 1 (1) ○または× × 正しい言葉や数字 カエル

(2) ○または× × 正しい言葉や数字 大きい

(3) ○または× ○

(4) ○または× × 正しい言葉や数字 4

(5) ○または× ○

2 ア 超音波 イ 羊水 ウ 胎盤 エ たんぱく質 オ 酸素

6 1 ① ウ ② イ ③ エ

2 (1) 1 0 0 0 0 0 0 0 0

(2) ① 1 3 7 9 · 1 4

(2) 9 8 (3) 1 1 (4) 3 7

(3) 森林

3 (1) 水滴がついている。

(2) フラスコ内の水温がより下がり多くの水滴がつく。

(3) 太陽からの熱エネルギー

解 説

1 1 塩酸の溶質は塩化水素なので、蒸発させると気体となって蒸発し、残った固体の重さは増えません。したがって、B液がうすい塩酸になり、A液がうすい水酸化ナトリウム水よう液とわかります。

2 水酸化ナトリウム水よう液に塩酸を加えると中和反応が起り、食塩ができます。①は水酸化ナトリウム水よう液だけなのでその固体だけが残ります。②・③は水酸化ナトリウム水よう液があまっているので、中和によってできた食塩と水酸化ナトリウムが残ります。④～⑥のように、完全中和したあとさらに塩酸を加えても反応は起きず、食塩だけが残ります。

3 表の②・③から、塩酸が20cm³増えると残った固体が2g増えることがわかります。したがって、完全中和して食塩が15gできるには、③より塩酸が10cm³多い50cm³にすればよいと考えられます。

4 50cm³の塩酸を加えると食塩が15gできることから、塩酸が10cm³のとき、食塩は3g ($15 \times \frac{1}{5} = 3$) できることがわかります。